

2024年度(2025年3月期) 第3四半期連結累計期間 (2024年4月～12月) 決算説明資料

2025年1月28日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2025 FDK CORPORATION

2024年度第3四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2024年度第3四半期の業績	
連結決算のポイント	3
2024年度第3四半期連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2024年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

■ 連結全体

売上高：481.3億円(前年同期比：+22.3億円、+4.9%)

電子事業のスイッチング電源などで減収も、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収、さらに円安効果も加わった

営業利益：13.0億円(前年同期比：+12.0億円、大幅増)

電池事業で売上増や原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果も加わった

経常利益：11.5億円(前年同期比：+9.2億円、+392.7%)

固定資産除売却損益(△1.3億円)の計上があったものの、上記営業利益の大幅な増加により増益

四半期純利益：6.9億円(前年同期比：+7.5億円、黒字化)

特別損益の悪化(△2.1億円)があったものの、上記経常利益の増加や税金費用の減少(0.5億円)により黒字化

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：+27.1億円、+7.8%

・ニッケル水素電池は国内外の市販・工業・車載用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収

・設備関連ビジネスは自動車関連設備が堅調で増収

・リチウム電池は海外のセキュリティ、スマートメータ用途向けが減収

電子事業：売上高 前年同期比：△4.7億円、△4.3%

各種モジュールでモビリティ・液晶ディスプレイ用途向けが増収も、スイッチング電源で半導体装置用途向けが減収、トナーが減収

はじめに、決算のポイントです。

■ 連結全体の売上高は、電子事業のスイッチング電源などで減収も、電池事業のニッケル水素電池や設備関連ビジネスなどで増収、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の営業利益は、電池事業で売上増や原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の経常利益は、固定資産除売却損益(△1.3億円)の計上があったものの、上記営業利益の増加により増益となりました。

連結全体の四半期純利益は、特別損益の悪化(△2.1億円)があったものの、上記経常利益の増加や税金費用の減少(0.5億円)により黒字化しました。

■ セグメント別では電池事業は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で堅調など増収となり、セグメント全体で前年同期比7.8%増となりました。

電子事業は、各種モジュールでモビリティ・液晶ディスプレイ用途向けが増収も、スイッチング電源で半導体装置用途向けが減収、トナーが減収となり、セグメント全体で前年同期比4.3%減となりました。

2024年度第3四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前年同期比	
				増減率
売上高	458.9	481.3	+22.3	+4.9%
営業利益 (営業利益率)	1.0 (0.2%)	13.0 (2.7%)	+12.0 (+2.5pt)	－%
経常利益 (経常利益率)	2.3 (0.5%)	11.5 (2.4%)	+9.2 (+1.9pt)	+392.7%
四半期純利益(△損失)※ (四半期純利益率)	△0.5 (△0.1%)	6.9 (1.5%)	+7.5 (+1.6pt)	－%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	△1.53円	20.24円	+21.77円
-------------	--------	--------	---------

為替レート	(円/1USD)	142.87円	152.32円	+9.45円
	(円/1EUR)	154.95円	164.94円	+9.99円

ROIC※	△0.8%	3.2%	+4.0pt
-------	-------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、連結決算概要です。

■電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けでの増加やBAOTOU FDK CO., LTD.の売上高も加わったこと、設備関連ビジネスが増加したこと、さらに円安効果も加わったことにより、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーが減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期と比べ22.3億円増加の481.3億円となりました。

■営業利益は、電池事業は売上増、原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果が加わりました。電子事業は売上減により、減益となりました。この結果、営業利益は前年同期と比べ12.0億円増加の13.0億円の黒字となりました。

■経常利益は、固定資産除売却損益(△1.3億円)の計上があったものの、前年同期と比べ9.2億円増加の11.5億円となりました。

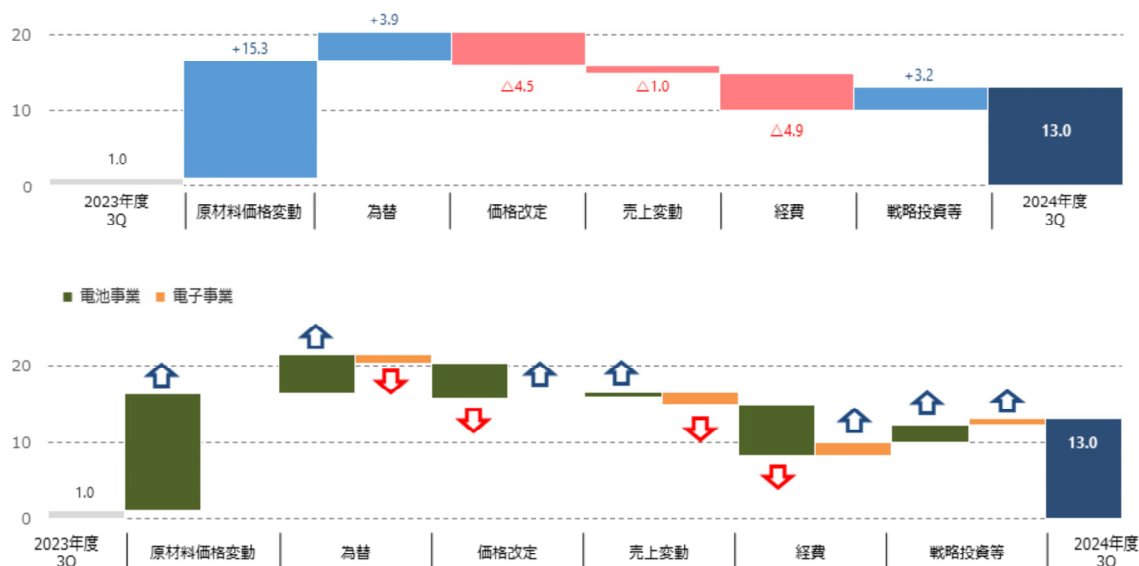
■四半期純利益は、前年同期と比べ7.5億円改善の6.9億円となりました。

■ROICは、前年同期と比べ4.0pt増の3.2%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

FDK

(単位：億円)	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前年同期比	
			増減率	
営業利益(営業利益率)	1.0(0.2%)	13.0(2.7%)	+12.0(+2.5pt)	—%



© 2025 FDK CORPORATION

※ 0.1億円未満切り捨て

次に、営業利益の変動要因です。

■ 全体の営業利益は、原材料価格の変動による増益に加え、為替の好転影響がありました。

経費による減益がありましたが、電池事業の売上増による増益があり、前年同期と比べ12.0億円増加の13.0億円となりました。

■ それぞれの要因が各事業に与えた影響としましては、電池事業では経費と価格改定が減益要因で原材料価格の変動、為替や売上増は好転要因となりました。電子事業では経費による好転要因がありましたが、売上減と為替が減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科 目	2023年度	2024年度 3Q	増減	科 目	2023年度	2024年度 3Q	増減
流動資産	365.9	339.1	△26.8	流動負債	342.1	303.8	△38.3
(受取手形及び売掛金)	(161.4)	(144.1)	△17.3	(支払手形及び買掛金)	(108.7)	(84.4)	△24.2
(電子記録債権)	(17.1)	(9.8)	△7.2	(電子記録債務)	(43.2)	(28.9)	△14.2
(仕掛品)	(34.3)	(28.4)	△5.8	(短期借入金)	(144.7)	(154.1)	+9.3
(原材料及び貯蔵品)	(55.9)	(53.0)	△2.9				
固定資産	149.6	148.9	△0.6	固定負債	16.9	14.5	△2.3
(有形固定資産)	(141.5)	(141.4)	△0.1	(退職給付に係る負債)	(7.1)	(4.1)	△3.0
(無形固定資産)	(3.7)	(3.4)	△0.2				
				負債合計	359.1	318.4	△40.7
				株主資本	128.8	135.8	+6.9
				(利益剰余金)	(△449.9)	(△442.9)	+6.9
				その他の包括利益累計額	26.5	32.7	+6.1
				(為替換算調整勘定)	(27.5)	(32.0)	+4.4
				(退職給付に係る調整累計額)	(△1.6)	(0.3)	+1.9
				純資産合計	156.4	169.7	+13.2
資産合計	515.5	488.1	△27.4	負債純資産合計	515.5	488.1	△27.4
自己資本比率				有利子負債残高			
30.1%				145.5			
34.5%				155.7			
+4.4pt				+10.2			

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、連結貸借対照表です。

■流動資産は、前年度と比べ26.8億円減少の339.1億円となりました。流動資産減少の主な要因は、連結子会社で売掛金回収が進んだことや早期資金化の実施などにより受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少したことに加え、仕掛品や原材料及び貯蔵品などの棚卸資産が減少したことによるものです。

■固定資産は、前年度と比べ0.6億円減少の148.9億円となりました。固定資産減少の主な要因は、無形固定資産が減少したことに加え、各種モジュールで一部機種生産終了に伴う固定資産処分などにより有形固定資産が減少したことによるものです。

■流動負債は、前年度と比べ38.3億円減少の303.8億円となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金が増加した一方、下請代金の支払サイトの短縮などにより支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことによるものです。

■固定負債は、前年度と比べ2.3億円減少の14.5億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る債務が減少したことによるものです。

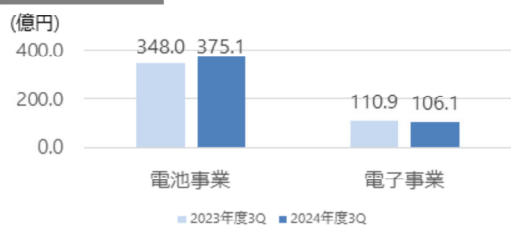
■純資産合計は、前年度と比べ13.2億円増加の169.7億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が6.9億円、為替換算調整勘定が4.4億円、退職給付に係る調整累計額が1.9億円、それぞれ増加したことによるものです。

■有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度と比べ10.2億円増加の155.7億円となりました。

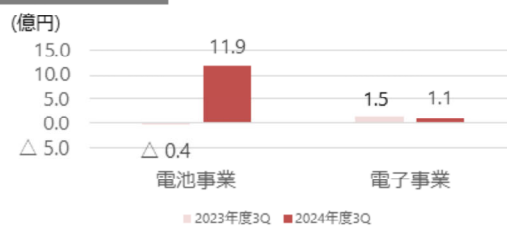
セグメント別情報

FDK

売上高



営業利益



(単位：億円)

		2023年度 3Q	2024年度 3Q	前年同期比	
					増減率
電池事業	売上高	348.0	375.1	+27.1	+7.8%
	セグメント利益(△損失) (率)	△0.4 (△0.1%)	11.9 (3.2%)	+12.4 (+3.3pt)	－%
電子事業	売上高	110.9	106.1	△4.7	△4.3%
	セグメント利益 (率)	1.5 (1.4%)	1.1 (1.1%)	△0.3 (△0.3pt)	△24.8%
合計	売上高	458.9	481.3	+22.3	+4.9%
	営業利益 (率)	1.0 (0.2%)	13.0 (2.7%)	+12.0 (+2.5pt)	－%

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増加、設備関連ビジネスが自動車関連設備で増加したことにより、前年同期と比べ27.1億円増加の375.1億円、セグメント利益は売上増、原材料価格の変動や円安効果も加わり、黒字化しました。

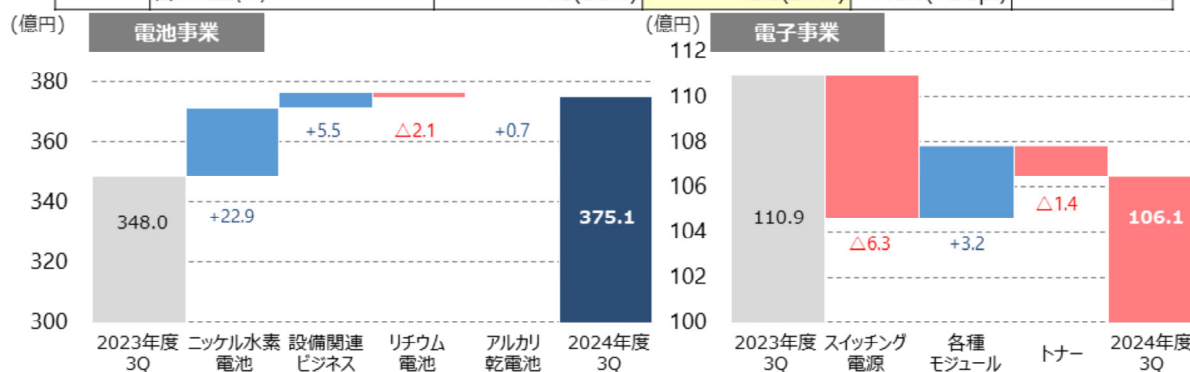
■ 電子事業の売上高は、スイッチング電源やトナーの売上減により、前年同期と比べ4.7億円減少の106.1億円、セグメント利益は前年同期と比べ0.3億円減少の1.1億円となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

		2023年度 3Q	2024年度 3Q	前年同期比	
				増減率	
電池事業	売上高	348.0	375.1	+27.1	+7.8%
	セグメント利益(△損失) (率)	△0.4(△0.1%)	11.9(3.2%)	+12.4(+3.3pt)	－%
電子事業	売上高	110.9	106.1	△4.7	△4.3%
	セグメント利益(率)	1.5(1.4%)	1.1(1.1%)	△0.3(△0.3pt)	△24.8%
合計	売上高	458.9	481.3	+22.3	+4.9%
	営業利益(率)	1.0(0.2%)	13.0(2.7%)	+12.0(+2.5pt)	－%



© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、国内外の市販・工業用途向け、海外の車載用途向けで増加したこと、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、自動車関連設備が増加したことにより、前年同期を上回りました。
- リチウム電池は、海外のセキュリティ、スマートメータ用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。

続いて、電子事業については、

- スイッチング電源は、半導体装置用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- 各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けが堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。
- トナーは、前年同期を下回りました。

2024年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	626.7	630.0	+3.2	+0.5%
営業利益 (営業利益率)	5.6 (0.9%)	13.0 (2.1%)	+7.3 (+1.2pt)	+128.6%
経常利益 (経常利益率)	7.2 (1.1%)	9.5 (1.5%)	+2.2 (+0.4pt)	+31.9%
当期純利益※ (当期純利益率)	1.2 (0.2%)	3.5 (0.6%)	+2.2 (+0.4pt)	+190.1%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	3.50円	10.14円	+6.64円
------------	-------	--------	--------

為替レート	(円/1USD)	143.82円	147.20円	+3.38円
	(円/1EUR)	156.24円	159.04円	+2.80円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2025 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、2024年度の見通しです。

通期連結業績予想は、2024年10月30日発表の公表値を据え置いております。当第3四半期連結累計期間の業績は、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益において既に通期の連結業績予想値を超過しておりますが、電池事業の海外の車載用途向けニッケル水素電池や電子事業の各種モジュールのモビリティ用途向け需要変動が業績に及ぼす影響を精査中であることから、現時点において通期連結業績予想の修正は行わない判断といたしました。

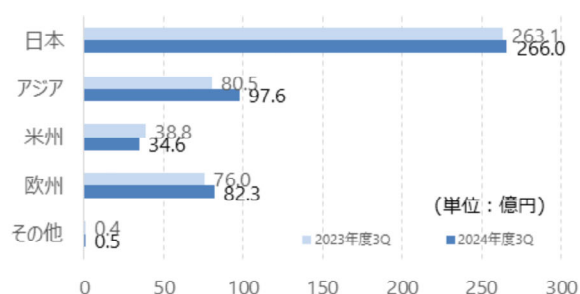
- 売上高は、630億円で3.2億円の増収。
- 営業利益は、13億円、経常利益は9.5億円、純利益は3.5億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル、147.20円、1ユーロ、159.04円を想定しております。

参考資料

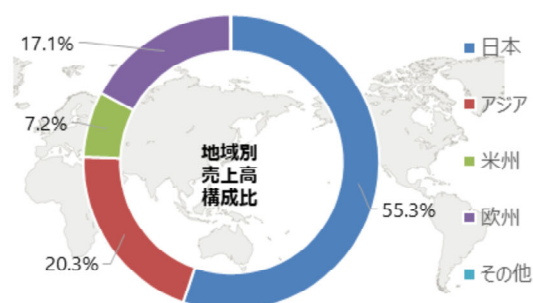
地域別売上高

FDK

(単位：億円)	2023年度 3Q		2024年度 3Q		前年同期比	
						増減率
日本	263.1	57.3%	266.0	55.3%	+2.9	+1.1%
アジア	80.5	17.6%	97.6	20.3%	+17.0	+21.2%
米州	38.8	8.5%	34.6	7.2%	△4.1	△10.7%
欧州	76.0	16.6%	82.3	17.1%	+6.3	+8.3%
その他	0.4	0.1%	0.5	0.1%	+0.1	+32.4%
合計	458.9	100%	481.3	100%	+22.3	+4.9%
海外売上高比率	42.7%		44.7%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています



連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2023年度 3Q	2024年度 3Q	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1.2	15.0	+16.2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17.7	△20.9	△3.1
フリー・キャッシュ・フロー	△18.9	△5.9	+13.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	24.7	8.9	△15.7
現金及び現金同等物の期末残高	32.8	41.4	+8.6

設備投資	18.2	19.4	+1.2
減価償却費	18.1	17.3	△0.7

1) 第65回電池討論会で研究・開発成果を発表

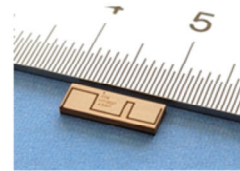
当社は、2024年11月21日開催の第65回電池討論会において、「非晶質相を形成するNASICON型固体電解質LAGPのGeサイト置換に関する研究(SMD小型全固体電池に関する研究)」と「高性能ニッケル亜鉛電池の開発」の研究・開発成果を発表しました

2) 第11回ウェアラブルEXPOに出展

当社は、2025年1月22日～24日に東京ビッグサイトで開催された第11回ウェアラブルEXPOに出展しました

電子製品は、Bluetooth® Low Energyモジュール、
電池製品は、SMD小型全固体電池「SoLiCell®」、薄形リチウム一次電池、コイン形リチウム二次電池、高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池、コイン形二酸化マンガンリチウム一次電池、ニッケル水素電池をご紹介します

* : Bluetooth® ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です



© 2025 FDK CORPORATION

最後に、トピックスです。

■ 当社は、2024年11月21日開催の第65回電池討論会において、「非晶質相を形成するNASICON型固体電解質LAGPのGeサイト置換に関する研究」と「高性能ニッケル亜鉛電池の開発」の研究・開発成果を発表しました。

■ 当社は、当社は、2025年1月22日～24日に東京ビッグサイトで開催された第11回ウェアラブルEXPOに出展しました。

電子製品は、Bluetooth® Low Energyモジュール、電池製品は、SMD小型全固体電池「SoLiCell®」、薄形リチウム一次電池、コイン形リチウム二次電池、高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池、コイン形二酸化マンガンリチウム一次電池、ニッケル水素電池をご紹介します。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来